

Automatic Tube Cutter

チューブカッター(自動送り機能付き)

この度は **TRUSCO** チューブカッター(自動送り機能付き)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前に、このご使用方法をよくお読みになり、正しくお使いください。
また、お読みになった後は大切に保管し、必要な時にお読みください。

ご使用方法

使用方法

●自動送りによる切断

1. チューブに刃が軽く接触するまで、ノブを回してください。なお、チューブの先端はローラーの幅以上の長さが本体より出るようにして、ローラーのセンター部にセットしてください。



2. 軟質管の場合、先端線がSOFTの|印に合うまでハンドルを右に回します。硬質管の場合、先端線がHARDの|印に合うまでハンドルを右に回します。SOFT、HARDの|印は目安のため、管の質や状態により、適宜、締め付けを調整してください。



3. 切断されるまで、本体を回転させてください。

※O管(なまし銅管)の材質(軟度)によっては基準位置でつぶれる場合がありますので、その際はハンドルの送りを調整してください。



4. 回転させても切断しない場合は、ハンドルの右送りと回転を繰り返してください。

●手動送りによる切断(一般的な切断方法)

1. チューブに刃が軽く接触するまで、ノブを回してください。なお、チューブの先端はローラーの幅以上の長さが本体より出るようにして、ローラーのセンター部にセットしてください。

2. ノブを回し、チューブをつぶしてしまわぬように少し切込みを入れ、本体を約1/4~1/2回転程度、数回前後に回転させ切込み跡をつけた後、本体を一回転させます。全周に付いた切込み跡が螺旋状にならず、一本の線(輪)になっていることを確認した上で徐々に切込みを深くしながら切断してください。

3. 切込み深さや回転速さを適当に調節することにより、切口の変形も少なく美しくなり、また、カッターホイールを長持ちさせることになります。

●特長



スプリング機構により、刃に余分な負荷をかけず、効率的な切断を実現しました。完全な円形でないチューブでも、自動で形状に合わせて切断ができます。

●替刃(カッターホイール)の交換

支持ピンを抜き取り、カッターホイールを取外してください。
組立ては、それぞれ取外しの逆の手順で行ってください。

刃を交換する際は、下記の専用替刃をご使用ください。

替刃(品番)	切断可能な配管の種類・肉厚 (mm)					材質	仕上
	銅	アルミ	真鍮	硬質塩ビ	薄肉 ステンレス鋼		
TTC-KC	3	3	3	3	切断不可	軸受鋼(SUJ2)	クロムメッキ
TTC-KT	3	3	3	3	1	ハイス鋼(SKH51)	チタンコーティング

▲使用上のご注意

●用途以外には使用しないでください。誤った使用は本品の破損や、事故の原因となりますので使用しないでください。●本品の使用前には必ず各部の点検をし、異常がないかを確認し、異常があれば使用を中止し修理または交換してください。●カッターホイールは、パイプに直角に当て、こじったり、ねじったりしないでください。また、ローラー部には時々注油をし、メンテナンスを行ってください。●本品に衝撃を与えたり、改造をしないでください。●切断作業中、刃物部には手を触れないでください。刃と管の間に指を挟むなど、事故やけがの原因になります。●チューブカッターに水やフラックスが付着した場合は必ず拭き取ってください。●切断したパイプの切り口は、鋭利になっています。手指などを損傷する危険性がありますので、直接、手指等で触れないでください。